

## 【保存版】中小企業経営者が毎月チェックすべき重要経済指標 10選



2026年3月25日時点



## ■ はじめに

企業経営において重要なのは、「過去の数字」ではなくこれから何が起こるかを予測することです。

本資料では、地方の中小企業経営者の皆様が最低限押さえておくべき経済指標を厳選し、「見方」と「実務への活かし方」を簡潔にまとめました。

👉 月1回・10分の確認で、経営判断の精度が大きく向上します。

---

## ■ 重要指標一覧(実務で使う10項目)

### ① 長期金利(10年国債利回り)

- 現在:約2.2%前後 ※3/25時点 2.25%
  - 入手先:日本銀行/日経新聞
  - 活用:借入金利・設備投資判断
    - 👉 上昇=借入負担増 → 投資は慎重に
- 

### ② 為替レート(円/ドル)

- 現在:約157~160円前後 ※3/25時点
  - 入手先:金融機関HP/日経新聞
  - 活用:仕入価格・燃料費
    - 👉 円安=コスト上昇 → 値上げ検討
- 

### ③ 物価上昇率(消費者物価指数)

- 現在:1.6%台 (生鮮食品を除くコアCPI) 3/25時点
- 入手先:総務省統計局

- 活用:価格改定の根拠
  - 👉 上昇=値上げしやすい環境
- 

#### ④ 原油価格(WTI)

- 現在:86 ドル/バレル 3/25 時点 イラン情勢の影響により急上昇中
  - 入手先:日経新聞
  - 活用:電気代・運送費
  - 👉 上昇=間接コスト増加
- 

#### ⑤ 完全失業率

- 現在:約 2.7% 2026 年 1 月分
  - 入手先:総務省統計局
  - 活用:採用難易度
  - 👉 低い=人材確保が困難
- 

#### ⑥ 有効求人倍率

- 現在:1.18 倍 2026 年 1 月分
  - 入手先:厚生労働省
  - 活用:人手不足の深刻度
  - 👉 1 倍超=売り手市場
- 

#### ⑦ 実質賃金

- 現在:横ばい~ややマイナス
- 入手先:厚生労働省
- 活用:顧客の購買力
- 👉 低下=節約志向強まる

---

## ⑧ 日銀短観(業況判断 DI)

- 現在:プラス圏 +12 2025 年 12 月調査
- 入手先:日本銀行
- 活用:景気の先行判断
  - 👉 改善=受注増の兆し

---

## ⑨ 長野県 建設着工件数

- 2026 年 1 月 前年比 25.3%の減少(持家が 479 戸で 30.5%増加、貸家が 105 戸で 64.4%減少、分譲が 177 戸で 50.6%の減少)
- 入手先:長野県
- 活用:地域経済の動き
  - 👉 地方経済の先行指標

---

## ⑩ 倒産件数

- 現在:増加傾向
- .2025 年の倒産件数は 1 万 261 件(前年 9901 件、3.6%増)
- 入手先:帝国データバンク等
- 活用:取引先リスク管理
  - 👉 増加=連鎖リスクに注意

---

## ■ 実務での使い方(最重要)

この 10 指標は、次の 3 つに分類して考えると実務で活きます。

### ① コスト管理

- 為替・原油・物価・金利  
👉 値上げ・仕入交渉の判断材料

## ② 売上予測

- 実質賃金・景気 DI・建設着工  
👉 売上の先行き判断

## ③ 人材戦略

- 失業率・求人倍率  
👉 採用・賃上げの判断

---

## ■ 最低限のチェック方法（推奨）

以下のみで十分です。

- ・日経新聞（電子版可）
- ・日本銀行ホームページ
- ・総務省統計局
- ・厚生労働省

👉 月1回確認（10分）

---

## ■ 税理士事務所からの提案

これらの指標を把握することで、

- ・値上げのタイミングを誤らない
- ・採用失敗を防ぐ
- ・資金繰り悪化を未然に防ぐ

ことが可能になります。

## ■ まとめ

地方の中小企業において重要なのは、  
「大きな流れを読むこと」です。

数字を知ること自体が目的ではなく、  
自社の意思決定にどう活かすかが全てです。

※本資料は 2026 年 3 月時点の一般的な経済環境に基づき作成しております。最新情報は各公表機関をご確認ください。

